

【新刊】『改訂版 まずはこちらから！ ベーシックな事例で学ぶ 企業法務の仕事』発売！

企業法務部門の新人・若手社員必読！「短時間で網羅的に学べるテキスト」の決定版！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）は『改訂版 まずはこちらから！ ベーシックな事例で学ぶ 企業法務の仕事』を発刊中です。



商品紹介ページはこちら

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104633.html?utm_source=prtmes

amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474091833>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17415232>

■発売の背景

～企業の法務部門担当者として意識すべきことは～

リスクマネジメントの一翼を担う法務部門の役割は、以前にも増してますます重要視されています。

本書では、法務部門のあり方や役割、業務についてわかりやすく解説します。

企業法務部の若手はもちろん、学生や院生、弁護士等、これから法務部門に携わる方におススメの一冊です。

■商品の特徴

- 企業の法務部門の新人・若手社員のレベルに合わせ、知っておくべき重要な項目を、体系的にわかりやすく解説！
- 経験の浅い社員でも案件対応のイメージをつかみやすいように、事例を用いて法知識のあてはめ方をレクチャー！
- 企業法務回りの気になるトピックス「電子帳簿保存法の定める保存方法」や「インボイス制度の導入」などもコラムとして掲載！

化して利益を確保することが必要となっています。

③ リスクマネジメントの体制

Q 組織のリスクマネジメントにあたって、「3つのディフェンスライン」(Three Lines of Defense) を考慮すべきとされていますが、意義について法務担当者としてどのように理解したらよいでしょうか？

A 「3つのディフェンスライン (Three Lines of Defense)」とは、COSOの「内部統制の統合的フレームワーク」において示されている考え方であり、組織の部門を①現業部門、②管理部門、③内部監査部門に分類し、それぞれに対して、リスク管理における3つの役割(ディフェンスライン)を担わせることによって内部統制を実行していくということを理解する必要があります。

① 3線ディフェンスとは

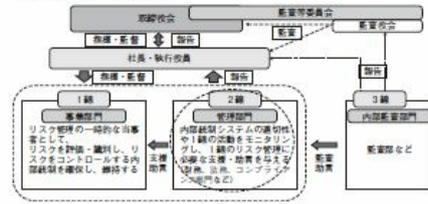
近年、金融機関や上場企業等を中心として、COSO「内部統制の統合的フレームワーク」が示す「3つのディフェンスライン (Three Lines of Defense)」の概念を意識したリスクマネジメント体制の整備が進められています。

このCOSO「内部統制の統合的フレームワーク」の3線ディフェンスは、組織内の内部統制運用にあたって必要となる各組織における役割と責任を示し、これをどのように分担すべきかという考え方を提示する

ものですが、内部統制に留まらず、広く組織のリスクマネジメント全般にも有効な枠組みと考えられ、組織内でのリスクマネジメントの役割やその体制の是非を議論する際に利用されています。

3線ディフェンスの概念は、リスクマネジメントに必要な役割と責任を指摘し、それを組織内の各部門にどのように分担させれば、最適な効果を発揮することができるかという考え方の指針を示すものです。具体的には、それぞれの役割は以下のとおりとされています。

◎ 3線ディフェンスの概念



② 各ディフェンスラインと法務部門の立ち位置

(1) 第1のディフェンスライン (1線)

第1のディフェンスラインは、現業部門の経営者および当該部門の構成員です。

現業部門は、事業遂行の担当者として、ビジネス推進に伴って発生するリスクの発生源ですが、リスクの管理者でもあります。そのため、自らがリスクの所有者(リスクオーナー)であることを意識しながら、これをコントロールする(重大なリスクを識別・評価する、低減させる、内部統制のプロセスを維持するなど)直接的な責任があります。

■ 目次 (一部抜粋)

- 1 総論編
- 1. 企業法務を取り巻く環境
- 2. 企業法務とは
 - (1) 法務機能の専門化
 - (2) 企業における法務業務
 - ① 法務業務とは
 - ② 法務業務の変遷
 - ③ 法務業務の類型化
 - (3) 具体的な法務関連業務
 - ① 担保取得等の与信管理
 - ② 延滞不良債権回収・管理
 - ③ 契約書審査・作成、管理
 - ④ 重要取引の法的審査およびリスク分析・対策
 - ⑤ 知的財産権の管理
 - ⑥ 株主総会

■ 商品概要

価格：定価3,300円 (本体3,000円+税10%)

ページ数：408頁

判型：A5判

商品紹介ページはこちらから

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104633.html?utm_source=prttimes

amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474091833>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17415232>

発売元：第一法規株式会社

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000513.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

第一法規株式会社

販売促進第四部

co_support@daiichihoki.com